

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.224



発行日 2020年1月31日

発行所

一般社団法人
教育システム情報学会

発行者 柏原 昭博

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358 番地 5

アカデミーセンター

URL <http://www.jsise.org>

E-MAIL secretariat@jsise.org



第 45 回全国大会案内・・・・・・・・・・・・・2	本学会研究会における
第 45 回全国大会	不適切な質問等への対応について・・・・16
企画セッションテーマ募集・・・・・・・・・・3	支部活動報告・・・・・・・・・・・・・17
第 6 回研究会開催案内・・・・・・・・・・・・・6	学会 Twitter, Facebook のご案内・・・・20
特集論文研究会開催案内・・・・・・・・・・・・・8	会費納入のお願い・・・・・・・・・・・・・21
第 5 回研究会開催報告・・・・・・・・・・・・・10	事務局より・・・・・・・・・・・・・23
学生研究発表会開催案内・・・・・・・・・・・・・12	会員専用ページの案内,
特集号論文募集・・・・・・・・・・・・・13	入会のご案内,
研究会報告年間購読・・・・・・・・・・・・・15	新入会員のご紹介





2020 年度 JSiSE 全国大会 (第 45 回) のご案内

担当者： 全国大会委員会

2020 年度全国大会のテーマ・開催日・開催場所の予定が決まりました。

テ ー マ：	学びのサステイナブル化に向けた教育システムの現状と未来
開 催 日：	2020 年 9 月 2 日（水）～9 月 4 日（金）
開催場所：	広島工業大学 五日市キャンパス http://www.it-hiroshima.ac.jp/

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観



■ アクセス

<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/access/itsukaichi/>

<JR・私鉄>

- JR 山陽本線「五日市」駅下車 ⇒ 広電（広島電鉄）宮島線に乗り換えて「楽々園」下車 ⇒ 徒歩 15 分
- JR 山陽本線「五日市」駅下車 ⇒ タクシー乗車（約 12 分、約 900 円）
- JR 山陽本線「廿日市」駅下車 ⇒ タクシー乗車（約 10 分、約 800 円）

<バス（広電バス）>

1. 五日市駅南口発「楽々園」経由「東観音台団地」「湯来温泉」方面行きに乗車
2. 「広島工大入口」下車
3. 徒歩 3 分



第 45 回（2020 年度）教育システム情報学会全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内

担当者： 全国大会委員会
委員長 小尻 智子

企画セッションは参加者にとって関心が高く、より詳細な研究テーマに焦点をあてたセッションです。以下のようにテーマを公募いたします。奮ってご応募ください。テーマが採用された方はオーガナイザになっていただき、発表募集の広報やプログラム作成、セッションの実施を行っていただきます。なお、お申し込みいただいた内容にしたがって全国大会委員会プログラム部会で審査をし、採否を決定させていただきますので、ご了承ください。

企画セッションの講演原稿のフォーマット、投稿方法、1セッションあたりの発表数、講演時間等は一般セッションと同じです。ただし、オーガナイザの裁量で1スロットにつき講演1件分を議論の時間にあてることができます。セッションの時間帯やスロット数は、大会プログラム作成時に全国大会委員会大会プログラム部会にて講演申込み数や全国大会全体の構成に応じて決定いたします。講演申込みは大会 Web の講演申込みサイトより、一般から公募いたします。また、企画セッションでの発表も大会奨励賞の対象となります。

企画セッションのテーマは一般セッションよりも特化したテーマに焦点があてられていることが望まれます。テーマご提案の際には、一般セッション講演募集用のカテゴリ表を参考にしてください。

■オーガナイザにご担当いただく事項

- 発表募集の広報（企画セッションの概要は全国大会 Web ページに掲載されます）
- 企画セッションのプログラム（発表順）の決定
発表申し込み数によっては、一部の発表を一般セッションに移動する必要があります。
その際、オーガナイザには一般セッションに移動する発表を決定していただきます。
- 座長の選定
原則としてオーガナイザが座長をご担当ください。セッションが複数になった場合は、各セッションの座長を異なるオーガナイザで担当していただきます。
- 当日のセッション運営

■お申し込み方法

以下の項目をご記入の上、全国大会委員会プログラム部会 (jsise-taikai-pc@jsise.org) 宛まで電子メールにてお申し込みください。

※送信後に投稿が保留された旨のメールが自動的に届きます。それとは別に後日受付の連絡をさせていただきますので、お待ちください。

- テーマ（企画セッション名）
- 概要（400 文字程度）
- テーマが該当するカテゴリ、分野（カテゴリ表より選択、多くて2～3個を目安としてください）
- テーマが該当するキーワード（カテゴリ表中のキーワード）

- テーマ独自のキーワード
 - オーガナイザ全員の氏名と所属，代表者の連絡先（電子メールアドレスなど）
- ※オーガナイザは教育システム情報学会会員に限ります。

■申込期限

2020年2月21日（金）（2020年2月28日（金）までに採録結果を通知いたします）

議論観点	カテゴリ	分野名 (発表時にはここだけ選択してもらいます プログラム編成においてセッション名として使います)	キーワード (分野選択時の参考にしてください。 ただし、各分野の発表はこれらに限るものではありません)
支援対象	設計	授業設計・インストラクショナルデザイン	授業研究, 学習理論, 教育方法, カリキュラム・デザイン, 授業評価, 授業実践, シラバス, 研修設計
		学習環境デザイン	デザイン研究, 学習科学
	教育・学習手法	遠隔教育	通信教育, 国際交流, 交流学习, 異文化交流
		ブレンディッド学習	反転授業, eラーニング授業利用
		連携型教育	小中連携, 中高連携, 高大連携, 大学間連携, 科目間連携, 地域連携, 産学連携
		協調学習	コミュニティ支援, コミュニケーション支援, グループ学習, ディスカッション支援
		アクティブラーニング	作問学習, PBL, クリッカー, アイデアソン, ハッカソン, ルーブリック, サービスラーニング, テキストコミュニケーション, 社会人基礎力, 反転授業, 体験学習
	分析・評価	学習者特性・行動分析	ポートフォリオ, アフェクティブラーニング, 質的分析, 学習履歴分析, レディネス, 生体情報, レスポンス分析, 教学インスティテューショナル・リサーチ(IR), 質問行動
		学習評価・アセスメント	リフレクション, ルーブリック, テスト理論, 質的評価, 適応型テスト, 数理モデル, ピアアセスメント, グループワーク評価, パフォーマンス評価, 項目反応理論, 所見による評価
	対象別教育	HRD・生涯学習	リカレント教育, 社会人教育, 企業内教育/研修, 異文化理解
		高等教育	キャリア教育, 質保証, リメディアル, 初年次教育, ファカルティ・ディベロップメント(FD), 研究活動支援, ティーチングポートフォリオ, チュータートレーニング, 教養教育, 教職課程
		初等中等教育	言語活動, 教科指導, 授業実践, 教師教育, 情報モラル, 一人一台タブレット環境
	領域別教育	プログラミング教育	アルゴリズム理解, ビジュアルプログラミング, プログラミング言語教育, オブジェクト指向教育, ロボットプログラミング, WebAPI
		情報技術教育	ネットワーク教育, データベース教育, 組み込みシステム教育, モデリング教育, システム要件定義, 技術者倫理教育, ソフトウェア開発教育, IoT
		語学教育	日本語学習, 外国語学習, 聴解学習, 発話学習, 作文教育, 読解教育, 語彙・単語学習, 文法教育, エッセイライティング, 例文検索
		教科教育	教科情報, 数学, 国語, 理科, 社会, 音楽, 美術, 技術・家庭科
		特別支援教育	インクルーシブ教育, LD, ADHD, 発達障害, 院内学級, 身体障害, 知的障害, 視覚障害, 言語障害
		スキル学習	身体知, 経験知, 学習スキル, メタ認知, 問題解決支援, 批判的思考, 自己調整学習
		医療・看護・福祉教育	カウンセリング, ボランティア, 介護, 理学療法, 保育, 作業療法, スポーツ医学
		情報リテラシー	プレゼンテーション支援, コンピュータ操作, 情報倫理, セキュリティ, 情報モラル, 情報スキル, クラウドサービス活用
		防災教育	レジリエンス, リスクマネジメント, 災害情報, 意思決定, 災害心理, 疑似体験, 避難訓練, 災害アーカイブ
技術	ICT活用	マルチメディア活用	映像・音声配信/収録/活用, 電子教科書, 電子黒板, プレゼンテーションドキュメント
		ソーシャルメディア活用	ソーシャルブックマーク, SNS, BLOG, マイクロBLOG, チャット
		デバイス活用	モバイル, タブレット, ユビキタス, ウェアラブル, ヒューマノイドロボット, IoT
	技術開発・運用	プラットフォーム活用	LMS, eポートフォリオ, CMS, テレビ会議システム, コンテンツ共有
		プラットフォーム開発	LMS, CMS, プラグイン, CSQ, eポートフォリオ, eテストング, API, データフォーマット, デバイス, テレビ会議システム, クラウド利用
		インフラストラクチャ	認証, ネットワーク構築, センサネットワーク, クラウド, セキュリティ, システム連携, 仮想化, データ運用管理, 教材データベース, BYOD
		コンテンツ作成支援	コンテンツ・オーサリング, カリキュラム・オーサリング, コンテンツ自動生成, SCORM, LOM, 問題作成支援
	先進的学習支援技術	先進的学習支援	AI(人工知能), アフェクティブコンピューティング, エージェント, 機械学習, 情報検索, 適応的支援, ナビゲーション支援, リフレクション支援, 情報推薦, ゲームフィケーション, 外在化支援, 抽象化支援, 知識マップ
		分析技術	テスト理論, データマイニング, ラーニングアナリティクス, ビッグデータ
		モデリング技術	メタ認知, 学習科学, 学習者モデル, 認知ツール, 数理モデル, ドメインモデリング
		ユーザインタフェース	仮想現実(VR), 拡張現実(AR), HCI, 視線入力, ヘッドマウントディスプレイ(HMD), ジェスチャ入力, 3D, 可視化, センサーデバイス, 音声入力, シミュレーション, マイクロワールド, 擬人化技術, アウェアネス, テレグジスタンス, 力覚情報, ヒューマノイドロボット
その他	その他	その他	



第 6 回研究会 開催案内

担当者： 西野和典（九州工業大学）、西端律子（畿央大学）、鷹岡亮（山口大学）、
浅羽修丈（北九州市立大学）、永田奈央美（静岡産業大学）、
長谷川理（武蔵野大学）、山本樹（明海大学）

■ テーマ：持続可能なプログラミング教育実践

■ 開催日時：2020 年 3 月 14 日（土）

■ 会場：千葉工業大学 津田沼キャンパス 7 号館 4 階

（〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1）

<https://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/>

■ 趣旨：

次期学習指導要領のもとで、小学校ではプログラミング的思考を育み、中学校ではネットワークを利用した双方向性のあるプログラミングについて学びます。そのうえで高等学校では、情報教育の一つの観点として基盤になる「情報の科学的理解」としてプログラミングを学びます。情報教育、とりわけプログラミング教育においても小中高の接続性が必要とされていますが、ここには依然として課題が散見され、さらに、学習方法・教材開発・教員養成についてもさらなる検討や開発が求められています。

授業の実践事例は、これまでに、情報教育やプログラミング教育を専門とする研究者や企業などの協働、先駆的な教員、IE-School・ICT-School といった推進校によって先行的に実施されています。しかし、これらが、実際の学校現場で運用され、それが、持続可能なのか、といった問題が残ります。

プログラミング教育必修化は目前にきています。これらの課題をどのように乗り越え、次世代の子どもたちの教育に資するべきかを、早期に考え、議論することは大変重要です。

そこで第 6 回研究会では、上記についての研究や議論を深めるため、「持続可能なプログラミング教育実践」に関連する研究発表を募集します。対象は、小中高に限らず、大学等で持続可能な教育実践研究や、持続を可能とするシステムなどを開発・研究されている研究発表もぜひご応募ください。また、教育の情報化に関連した研究発表や本学会の取り扱う領域における一般研究発表も幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

■ 当日のプログラムは、決まり次第下記 URL で公開します。

https://www.jsise.org/society/committee/2019/CFP_6th.html

■ 原稿提出締切：2020 年 2 月 6 日（木）

■ 原稿提出は、下記 URL よりお願いします。

https://www.jsise.org/society/committee/2019/CFP_6th.html

注) 研究報告の電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究報告見本：<https://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究会報告ひな形：<https://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ 発表時間は1件25分（発表18分、質疑7分）です。

■ 参加費等：

研究会への参加は無料です。研究報告（講演論文集）は、1,000円で当日購入できます。研究報告は電子化されており、インターネット経由でダウンロードするか、受付に準備するUSBメモリからコピーしていただきます。詳しくは以下のページをご覧ください。

https://www.jsise.org/utility/information/howto_jrr.html

■ 研究会および懇親会の参加登録：

研究会当日のご参加も受け付けておりますが、当日の円滑な受付のため、事前の参加登録のご協力をお願いしております。研究会への参加を予定されている方は、【3月7日(土)】までに、下記のWebページにお名前やご所属等の情報を入力してご登録下さい。

なお、特集論文研究会と合同で、千葉工業大学の最寄り駅付近で懇親会（5,000円程度）を予定しております。懇親会の参加希望も【3月7日(土)】までに下記Webページからご登録下さい。研究発表の申込をされた方も、懇親会の参加を希望される場合は、下記Webページでご登録下さい。

<https://bit.ly/jsise-6th>

■ お問い合わせ先：明海大学 山本樹（第6回研究会担当委員）

E-mail：tatsuki_at_meikai.ac.jp（「_at_」は、半角の「@」に変更してください）



特集論文研究会 開催案内

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田和久（大阪府立大学）

■テーマ： SDGs (Sustainable Development Goals) に貢献する教育システム

■開催日時： 2020 年 3 月 14 日（土）

■会場： 千葉工業大学津田沼キャンパス 7 号館 4 階
(〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1)

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

■趣旨：

※本研究会は，論文特集との連動企画です．

本研究会では，社会における需要が急速に高まっている，持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）をテーマとした「SDGs に貢献する教育システム」に関する研究発表を募集いたします．2015 年 9 月に国連で採択された SDGs では，地球上に山積する様々な課題の解決が国際目標として掲げられています．SDGs は，17 の目標と 169 のターゲットから構成され，その一つには，「包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し，生涯学習の機会を促進する」ことが挙げられています．こうした状況において，「持続可能な開発を促進するために必要な知識・スキルの習得」のための学習環境の充実が求められています．SDGs の採択から 5 年が経過しようとしています．年限である 2030 年に向けて，近年における教育システム情報学領域における知見が共有されることによって，SDGs に貢献する教育システムの更なる発展が期待できます．

■発表申込締切： 締め切りました．

■原稿提出締切： 2020 年 2 月 6 日（木）

原稿の執筆・投稿にあたっては，以下のページをご確認ください．

- ・執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>
- ・報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>
- ・報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>
- ・オンライン原稿投稿：<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■参加登録： 2020 年 3 月 7 日までに，下記 URL より，事前にご記入ください．

<https://bit.ly/jsise-6th>

研究会当日のご参加も受け付けております。

■研究報告集と登壇者の報告集購入について：

研究報告は電子化されています。年間購読をお申し込みの会員の方は、研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで閲覧できます。非会員の方や、年間購読を申し込まれていない方は、当日、受付で研究報告集代(1,000 円)をお支払いいただいた上で、インターネット経由でダウンロード、または受付に準備する USB メモリーからコピーできます。詳しくは以下のページをご覧ください。

https://www.jsise.org/utility/information/howto_jrr.html

研究会への参加費は無料となっておりますが、登壇者の方で研究報告の年間購読をされていない方には、当日分のオンライン報告集の購入 (1,000 円)をお願いしております。詳しくは、研究会参加に関してよくあるご質問 (FAQ) <http://www.jsise.org/society/faq.html> をご覧ください。

年間購読(4,000 円)をお申し込みいただくと、年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます。申込方法等については、以下のページをご覧ください。

<https://www.jsise.org/utility/information/20160222.html>

■お問い合わせ

特集論文研究会担当委員 (金沢工業大学 田中 孝治)

E-mail: kjtanaka@neptune.kanazawa-it.ac.jp (「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい)

★★多くの方のご参加を心よりお待ちしております！★★



第 5 回研究会 開催報告

担当者： 三石大（東北大学）、光原弘幸（徳島大学）、高木正則（岩手県立大学）、
鷹野孝典（神奈川工科大学）、佐々木整（拓殖大学）

■ テーマ：新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般

■ 開催日：2020 年 1 月 12 日（日）

■ 開催会場：山口大学吉田キャンパス

■ 概要：

2020 年 1 月 12 日に山口大学吉田キャンパスを会場に、2019 年度第 5 回研究会を開催いたしました。今回、3 連休の中日の開催となりましたが、今回の研究会テーマでもあるスマートフォンや各種センサーデバイス等の新技術を活用した教育システムの設計や学習ツールの利用履歴を活用した学習分析のほか、自己調整学習や協調学習のための教授設計とその実践等、計 19 件の幅広い研究成果を 2 会場に分かれてご報告頂くとともに、全国から 40 名の皆さんにご参加頂き、各会場とも活発なご議論を頂きました。

また、研究会終了後の懇親会には 20 名の皆さんにご参加頂き、山口県特産のフグや銘酒を囲みながら、研究会で議論しきれなかった議論を尽くす機会とすることができました。

最後に、会場をご提供頂きました山口大学教育学部の鷹岡先生、ならびに、年明け早々の 3 連休にかかわらず、朝早くからお手伝いを頂きました山口大学の学生さんに、この場を借りて担当委員より御礼申し上げます。

■ 発表タイトル一覧：

- ・ 受講生画像からの表情・姿勢推定に基づく学習状態判定機能を備えた遠隔講義システムの開発
- ・ 発話音素列に着目した学習者の発音傾向抽出手法の検討
- ・ チャットでの質問履歴から推定する習熟度を考慮したプログラミングヒント提示システムの開発
- ・ 学びの構成原理に基づく授業デザインと評価方法の提案 - 小学校におけるジグソー法を組み込んだ算数授業を対象とした実践 -
- ・ ICT 環境のレベルと児童生徒の認知過程との関連研究
- ・ 自己調整学習を主題とする授業実践における受講者の学習意識の変化
- ・ スマートフォンを使用しながら授業を受けることが学習者に与える影響 - 高等学校理科の科学と人間生活における授業実践 -
- ・ User Experience Considerations in Motivational Design for Sustainable Mobile Learning Usage
- ・ バドミントン競技におけるスポーツ解析への 360 度映像の活用
- ・ ビジュアルプログラミングツールを用いた AI 学習教材「Scraib(スクライブ)」の開発
- ・ 肢体不自由者のための Kinect V2 センサーを用いた自立活動支援アプリケーションの改良
- ・ タブレット PC を用いた肢体不自由者向け入力測定アプリケーションの利便性向上
- ・ 認知機能検査及びトレーニング用 Android アプリケーションの開発 - グラフの改良 -

- 写真データを用いた学びの軌跡可視化システムの開発
- Web 調べ学習における課題関連度の提案 -興味の変移に対応した LOD に基づく指標の算定-
- GitHub 利用履歴とアンケート調査に基づくチーム開発活動評価実験
- 話しことばチェッカーの開発と実証評価
- 数学文章題を利用したオンラインジャッジ システム向け問題自動生成手法の提案
- 手書き入力漢字自動採点システムにおいて適切な点数化を行うための減点の統合方法



2019 年度学生研究発表会開催案内（最終報）

担当者：人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を下記の通り開催します。（発表申し込みは1月27日で締め切っております）

開催地区 開催都市	開催場所・開催日 実行委員長・各地区受付窓口（連絡先）
北海道 千歳市	千歳文化センター（北ガスホール）・2020年3月1日（日） 小松川 浩（公立千歳科学技術大学）・ 山本裕一（北海道大学）・sierra@iic.hokudai.ac.jp
北信越 長岡市	アオーレ長岡（長岡駅前）・2020年3月10日（火） 香山 瑞恵（信州大学）・中平勝子（長岡技術科学大学）・森祥寛（金沢大学） ・hse-submit@jsise.org
関東 栃木県日光市	ホテル鬼怒川御苑・2020年3月2,3日（合宿形式） 山本 樹（明海大学）・jsise-kanto-sub@jsise.org
東海 岐阜市	じゅうろくプラザ（岐阜駅前）・2020年3月3日（火） 長谷川 信（岐阜聖徳学園大学）・m.hasegawa@gifu.shotoku.ac.jp （ポスターあり）
関西 大阪市	関西学院大学大阪梅田キャンパス・2020年2月27日（木） 河野 稔（兵庫大学）・kawano@hyogo-dai.ac.jp （ポスターあり）
中国 広島市	広島工業大学五日市キャンパス・2020年2月29日（土） 松本 慎平（広島工業大学）・s.matsumoto.gk@cc.it-hiroshima.ac.jp（ポスターあり）
四国 香川県三豊市	香川高等専門学校 詫間キャンパス・2020年3月8日（日） 米谷雄介（香川大学）・kometani@eng.kagawa-u.ac.jp ※香川高等専門学校との共催
九州 鹿児島市	鹿児島大学・2020年3月7日（土） 石塚丈晴（福岡工業大学短期大学部）・ishizuka@fit.ac.jp
沖縄 宜野湾市	沖縄国際大学・2020年3月5日（木） 小渡 悟（沖縄国際大学）・sodo@okiu.ac.jp

最新情報は、学会ウェブページにて更新していきます。ご不明な点は、発表希望地区の受付窓口にご確認ください。



2020 年度 特集号論文募集

学会誌編集委員会委員長 瀬田和久（大阪府立大学）

「SDGs (Sustainable Development Goals) に貢献する教育システム」

論文投稿締切：2020 年 6 月初旬（予定）

2021 年 4 月 1 日 発行（予定）

本特集号では、社会における需要が急速に高まっている、持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）をテーマとした「SDGs に貢献する教育システム」に関する論文を募集いたします。2015 年 9 月に国連で採択された SDGs では、地球上に山積する様々な課題の解決が国際目標として掲げられています。SDGs は、17 の目標と 169 のターゲットから構成され、その一つには、「包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」ことが挙げられています。こうした状況において、「持続可能な開発を促進するために必要な知識・スキルの習得」のための学習環境の充実が求められています。SDGs の採択から 5 年が経過しようとしています。年限である 2030 年に向けて、近年における教育システム情報学領域における知見が共有されることによって、SDGs に貢献する教育システムの更なる発展が期待できます。

1. 対象分野

SDGs それ自体を対象とする教育システムに関する論文、ならびに、教育の質保証、健康・福祉教育、消費者教育、技術者教育、人権・ジェンダー教育、自然・環境・エネルギー教育、防災教育、平和教育、生涯学習など、持続可能な世界を実現するための 17 ゴール 169 ターゲットを対象とした教育システムに関する論文を広く募集いたします。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。

また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集論文研究会(2020 年 3 月中旬開催予定)で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。＜英文誌ホームページ：http://www.jsise.org/journal/journal_en.html＞

4. スケジュール

論文投稿締切： 2020年6月初旬（予定）
採録通知予定： 2020年11月初旬頃（予定）
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 38, No. 2, 2021年4月1日発行（予定）

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表・ご参加ください。詳細は開催案内をご覧ください。

特集論文研究会： 2020年3月14日（土）
会 場： 千葉工業大学津田沼キャンパス（〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1）
発表申込 締切： 2020年1月27日（月）
原稿提出 締切： 2020年2月6日（木）

5. 特集号編集委員会

委員長： 瀬田和久（大阪府立大学）
副委員長： 村上正行（大阪大学）
幹 事： 松田憲幸（和歌山大学），後藤田中（香川大学），田中孝治（金沢工業大学）
幹事補佐： 近藤伸彦（首都大学東京），山元翔（近畿大学）
委 員： 学会誌編集委員，特集号編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 田中孝治（金沢工業大学）
E-mail: kjtanaka@neptune.kanazawa-it.ac.jp
Web投稿： 編集事務局
電話： 03-5389-6492
E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献社 長澤氏



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回, 特集研究会 1 回, 計 7 回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。 すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



教育システム情報学会研究会における 不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

東海支部より活動報告

[講演会]

■日時：2019年12月14日(土) 13:00～17:00

■会場：名古屋都市センター14F 第3会議室

■主催：教育システム情報学会東海支部

座長：津森伸一先生（聖隷クリストファー大学）

[ライトニングトークセッション] 13:20～14:40

- (1) "Developing Students' 21st Century Competencies"

Chan See Mun, Alison 氏

（愛知教育大，文科省教員研修留学生）

- (2) "The relationship between pre-education and children's social and cognitive skills"

Aldagig Ahmed 氏

（愛知教育大，文科省教員研修留学生）

- (3) "Needs of Boosting the Teaching and Learning of English as a Second Language through the Use of ICT"

Aboki Francis 氏

（愛知教育大，文科省教員研修留学生）

- (4) "非漢字圏の留学生を対象とする漢字の学習"

張春華 氏（愛知教育大大学院修士2年）

- (5) "フローチャートとScratchを利用したプログラミング授業方法の提案"

胡石帆 氏（愛知教育大大学院修士2年）

[一般セッション] 14:50～15:50

- (1) "アマチュア無線を用いた大規模災害時における非常通信ネットワーク"

若月 徹 先生（藤田医科大学）

[企業セッション] 15:50～16:50

- (1) "視聴覚教育と教室設備"

渡辺 将仁 氏（電子システム株式会社）

ライトニングセッションの留学生による話しは(1)から(3)は英語で、(4)は英語と日本語で(5)は日本語での講演がなされ、それぞれの国の教育の現状などが話された、英語と日本語を取り混ぜての活発な議論がなされた。

一般セッションでは、2018年9月の北海道の地震を経験され、通信の重要性と災害に強いアマチュア無線によるネットワークの構築と人間関係の構築の重要性について実践活動の報告を含めてお話がされた。

企業セッションでは、スピーカの配置の重要性と最新の視聴覚教材作成のツールの紹介があり、ビデオ画像から動く部分を取り出してリアルタイムで教材にするシステムがデモなどを通じて紹介された。



若月徹 先生



渡辺将仁 先生

北 信 越 支 部 よ り 活 動 報 告

北信越支部主催ワークショップ「成果発表を磨く」開催・募集のお知らせ

担当者： 香山瑞恵（信州大学）、森 祥寛（金沢大学）

北信越支部では、広く教育工学、教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため、【成果発表を磨く】というワークショップを開催しています。

内容は、論文執筆を目標とした研究のまとめかたに関する講演とともに、学位取得を目指す博士生や論文投稿を目指している修士生による研究発表と、論文執筆と目標とした議論です。過去の3回のワークショップでは参加者より、多くのコメントもいただきました。これらの様子は、北信越支部のWebサイトやFacebookにてご覧いただけます。また、数多くのコメントをいただいた博士課程学生の皆さんは論文採録2本、国際コンペ表彰1名、学位取得4名など、それぞれに成果をあげています。

本年度は以下の内容にて開催します。なお、本ワークショップは、全国の学生会員もしくは会員の皆様が指導されている学生を対象としたワークショップとなっております。

昨年度は、残念ながら発表者がおりましたが、「成果発表を磨く」実践的な機会であり、研究に対する多くの有益なコメントをいただける機会です。併せて、学生研究発表会もありますので、学生の皆さんはこれらと合わせて是非ご参加ください。

また、前日9日（月）には大学eラーニング協議会の総会・フォーラム (<https://www.uela.cloud/>) が、当日は日本リメディアル教育学会 ICT 活用教育部会の研究会 (<http://www.jade-web.org/>) が同会場にて開催されています。大学教育にeラーニングを導入している先進校の取組や、大学で実施されているリメディアル教育の最新研究について知ることができますので、是非、こちらへの参加も検討してみてください。

○北信越支部ワークショップ【成果発表を磨く】

開催日時：2020年3月10日（火）午後

開催場所：シティホールプラザ アオーレ長岡（予定 新潟県長岡市 JR長岡駅徒歩3分）

話題提供・討論概要：

申込者には、1件あたり50分の時間が与えられます。

与えられた時間の中で話題提供と討論をしてください。

事前に予稿等の原稿提出は不要です。当日の資料配付等は可とします。

対象：博士後期課程学生もしくは博士前期課程で論文投稿を目指す者

JSiSE 学生会員または JSiSE 会員に指導を受ける者

申込方法・〆切：2月9日（日） ※定員になり次第締め切ります。

申込み、お問い合わせ先：北信越支部研究会担当 hse-submit@jsise.org

※ 話題提供のタイトル、氏名、連絡先、指導教員の氏名をお知らせください。

北信越支部 Web サイト：<http://www.jsise.org/~hse/>

北信越支部 Facebook：<https://www.facebook.com/jsisehse>



Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より，全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました．本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております．本学会へのご質問・お問い合わせは，学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします．また，Facebook アカウントとの連携も行っており，Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので，ぜひご活用（フォロー）ください．

<https://twitter.com/JsisePr>

✧ 2020 年 1 月 22 日現在，フォロワー数 219 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています．本ページでは，

- ・ 論文・発表募集
- ・ 本学会に関連するイベントの情報

などを，いち早くお届けします．ぜひ，ご覧下さい．

Facebook ユーザの方は，ぜひ，「いいね」をお願いいたします．

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

✧ 2020 年 1 月 22 日現在，いいね 376 件，408 人フォロー





会費納入のお願い

会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、2019 年度会費未納の方はご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。なお、2 月上旬に 2020 年度会費納入のお願いをメールでお送りしますので、合わせてお願いします。

「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00180-6-709632

加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名： ゆうちょ銀行（金融機関コード： 9900）

店名： ○一九 店（ゼロイチキユウ店） 預金種別： 当座 口座番号： 0709632

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード： 0005）

店名： 上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 0142708

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード： 0001）

店名： 茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 1399483

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました．（2019 年 11 月 20 日～2020 年 1 月 16 日）

会員名	会員種別	会員名	会員種別
浦松 良治	学生会員	桂 瑠以	正会員
栗林 英一	学生会員	竹野 英敏	正会員
梁 滋ルー	正会員		

（計 5 名）